

「中国に親しみ感じない 73.1% 米国、韓国、台湾との違い鮮明に」

中国に親しみを感じる日本人は 7.3%と昨年比べ 1 ポイント減り、親しみを感じない日本人が 73.1%と昨年より 2.1 ポイント増えていることが、笹川平和財団笹川日中友好基金の調査で明らかになった。一昨年と同じかほぼ同じ比率に戻っていることを示している。現在の日中関係を良好だと思わない日本人も、昨年、前年を 5 ポイント下回る 70.2%に減っていたのが、今回 75.5%と一昨年を上回る比率に増えている。台湾、米国、韓国に対する親近観や関係を尋ねた調査結果も示されており、中国との大きな差が目立つ。

<経年比較>親近感



(「日本人の中国に対する意識調査 2024」(笹川平和財団)を加工して作成)

11 日結果が公表された「日本人の中国に対する意識調査 2024」は、日本国内在住の 15 歳～89 歳の男女 3000 人を対象に、今年 8 月 19～25 日にインターネット調査法で実施された。中国との付き合い方や日中関係の変化などに加え、韓国、台湾、米国に対する親近観や関心度についても調べている。

**親近感台湾 63.5%、米国 49.3%、韓国 26.4%**

それぞれの国・地域に親しみを感じるかを聞いた質問項目に対し「親しみを感じる」と「どちらかという親しみを感じる」を合わせた答えが最も多かったのは台湾の 63.5%。次いで米国 49.3%、韓国 26.4%、中国 7.3%となった。「親しみを感じない」「どちらかという親しみを感じない」を合わせた答えが最も多かったのは中国の 73.1%で、次いで韓国 48.8%、米国 18.5%、台湾 15.5%と、こちらも大きな違いがみられる。

それぞれの国・地域に対する関心度を尋ねた質問に対する答えにも大きな差がみられる。

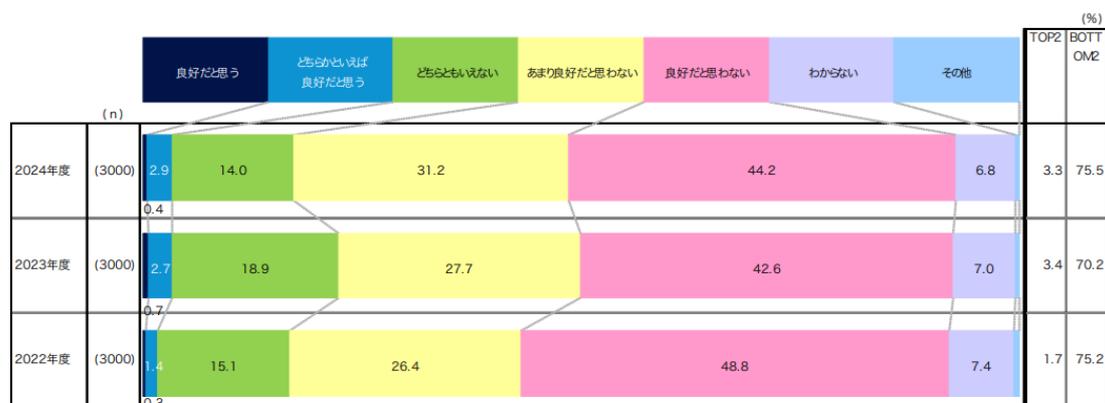
「とても関心がある」「どちらかというに関心がある」を合わせた答えが最も少なかったのは中国で 26.4%にとどまる。「全く関心がない」「どちらかというに関心がない」を合わせた答えが 51.7%と半数を超えた。最も関心が高かったのは米国で「とても関心がある」「どちらかというに関心がある」を合わせると 61.5%（「全く関心がない」「どちらかというに関心がない」を合わせた答えは 16.0%）。次いで台湾が 56.1%（同 19.9%）、韓国が 37.2%（同 39.1%）だった。

### 日中関係良好とみるのは 3.3%

4 カ国・地域それぞれと日本の関係を尋ねた結果からも日中関係を厳しくみる日本人の多さが目立つ。日中関係を「良好だと思う」「どちらかといえば良好だと思う」を合わせた比率はわずか 3.3%。「良好だと思わない」「あまり良好だと思わない」を合わせた 75.5%に上る。「良好だと思う」「どちらかといえば良好だと思う」の答えが 63.7%の日台関係、同じく 51.9%の日米関係との差は特に著しく、「良好だと思う」「どちらかといえば良好だと思ふ」が 19.3%、「良好だと思わない」「あまり良好だと思わない」が 43.4%との日韓関係に比べてもだいぶ差がついている。

さらに、それぞれの国・地域のメディアによる日本に対する報道をどの程度信頼しているかを聞いた質問に対する答えにも、これら 3 カ国・地域と中国で大きな差が見られた。中国に対しては「信頼している」「どちらかというに信頼している」を合わせた答えがわずか 5.8%。「全く信頼していない」「あまり信頼していない」を合わせると 77.8%に上る。台湾（「信頼している」「どちらかというに信頼している」53.4%、「全く信頼していない」「あまり信頼していない」25.1%）、米国（同じく 47.4%、34.1%）、韓国（同じく 17.8%、63.8%）との違いは大きい。

### <経年比較> 日中関係



（「日本人の中国に対する意識調査 2024」（笹川平和財団）を加工して作成）

中国に関する数多くの調査項目に対する答えにこの 2 年間で見られた変化も目を引く。「日中の政府間の関係が 10 年前に比べて悪くなった」という調査項目に「全くそう思う」「どちらかというと思う」を合わせた答えは、昨年の 43.4%から 38.4%に減った。「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」を合わせた答えも 10.1%から 12.5%に増えている。「10 年前に比べ、中国は国際社会に対して横柄な態度をとるようになった」という調査項目に対する答えも、「全くそう思う」「どちらかというと思う」が昨年の 55.0%から 54.4%とわずかとはいえ減り、「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」が 7.2%から 8.6%に増えている。

### 日中の政府間の関係は、10 年前に比べて悪くなった



(「日本人の中国に対する意識調査 2024」(笹川平和財団)を加工して作成)

### 経済分野での中国重視も減少

一方、「日本の経済を維持・発展させるためには、中国との付き合いはどうしても必要だ」に「全くそう思う」「どちらかというと思う」は 45.4%から 42.5%に減り、「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」が 13.3%から 16.8%に増えている。「中国は 10 年前に比べて、より開放的な社会に変わった」に「全くそう思う」「どちらかというと思う」も昨年の 15.8%から 14.9%に減り、「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」が 42.8%から 44.1%に増えている。

日本の経済を維持・発展させるためには、中国との付き合いはどうしても必要だ



(「日本人の中国に対する意識調査 2024」(笹川平和財団)を加工して作成)

### 平和維持関連でも変化

「平和を維持するために、日本政府は中国政府とより緊密な関係を結ぶ必要がある」についても「全くそう思う」「どちらかというと思う」は昨年の 33.4%からわずかとはいえ 33.2%に減り、「どちらかというと思わない」、「まったくそう思わない」が昨年の 16.2%から 19.8%に増えている。「さまざまなリスクを考え、中国との付き合いは最低限にしておく必要がある」(39.7%から 43.8%)、「中国は軍備を増強しているため、日本はこれに対抗しないといけない」(30.3%から 33.1%)、「中国に付度して台湾との交流や往来を制限する必要はない」(51.2%から 53.6%)、「現在の米中対立にあって、日本はアメリカ側に就くべきである」(41.5%から 43.0%)という調査項目に対し、「全くそう思う」「どちらかというと思う」が、いずれも増えているのも目を引く。

### 平和を維持するために、日本政府は中国政府とより緊密な関係を結ぶ必要がある



(「日本人の中国に対する意識調査 2024」(笹川平和財団)を加工して作成)

### 中国に対する調査結果にみられる 2022~2024 年度の回答 (%)

調査項目	2024	2023	2022
親近感「親しみを感じる」「どちらかというと思親しみを感じる」	7.3	8.3	7.3
「親しみを感じない」「どちらかというと思親しみを感じない」	73.1	71.0	73.7
関心度「とても関心がある」「どちらかというと思関心がある」	26.4	29.1	28.5

「全く関心がない」「どちらかというに関心がない」	51.7	48.2	48.7
地域のメディアによる日本に対する報道をどの程度信頼しているか			
「信頼している」「どちらかという信頼している」	5.8	7.3	3.7
「全く信頼していない」「あまり信頼していない」	77.8	76.4	76.1
日中関係「良好だと思う」「どちらかといえば良好だと思う」	3.3	3.4	1.7
「良好だと思わない」「あまり良好だと思わない」	75.5	70.2	75.2
中国や日中関係の変化：中国は10年前に比べて、より開放的な社会に変わった			
「全くそう思う」「どちらかというと思う」	14.9	15.8	—
「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」	44.1	42.8	—
中国や日中関係の変化：日中の政府間の関係は、10年前に比べて悪くなった			
「全くそう思う」「どちらかというと思う」	38.4	43.4	—
「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」	12.5	10.1	—
中国や日中関係の変化：10年前に比べて中国系の人との付き合いや接触が増えた			
「全くそう思う」「どちらかというと思う」	26.5	26.5	—
「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」	26.4	23.9	—
中国や日中関係の変化：この10年で、日本と中国の国力の違いは大きくなった			
「全くそう思う」「どちらかというと思う」	45.3	49.8	—
「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」	12.0	9.3	—
中国や日中関係の変化：10年前に比べ、中国は国際社会に対して横柄な態度をとるようになった			
「全くそう思う」「どちらかというと思う」	54.4	55.0	—
「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」	8.6	7.2	—
中国との付き合い方：さまざまなリスクを考え、中国との付き合いは最低限にしておく必要がある			
「全くそう思う」「どちらかというと思う」	43.8	39.7	—
「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」	15.9	16.0	—
中国との付き合い方：日本の経済を維持・発展させるためには、中国との付き合いはどうしても必要だ			
「全くそう思う」「どちらかというと思う」	42.5	45.4	—
「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」	16.8	13.3	—
中国との付き合い方：平和を維持するために、日本政府は中国政府とより緊密な関係を結ぶ必要がある			
「全くそう思う」「どちらかというと思う」	33.2	33.4	—
「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」	19.8	16.2	—
中国との付き合い方：中国は軍備を増強しているため、日本はこれに			

対抗しないとイケない			
「全くそう思う」「どちらかというと思う」	33.1	30.3	—
「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」	18.7	20.2	—
中国との付き合い方：中国に付度して台湾との交流や往来を制限する必要はない			
「全くそう思う」「どちらかというと思う」	53.6	51.2	—
「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」	11.8	11.2	—
中国との付き合い方：現在の米中対立にあって、日本はアメリカ側に就くべきである			
「全くそう思う」「どちらかというと思う」	43.0	41.5	—
「全くそう思わない」「どちらかというと思わない」	8.5	8.6	—
日中関係の取り組み主体			
「政府間の取り組みが重要な役割を担うべき」「どちらかという和政府間の取り組みが重要な役割を担うべき」	48.1	45.9	46.4
「民間の取り組みが重要な役割を担うべき」「どちらかというと民間の取り組みが重要な役割を担うべき」	15.0	16.4	15.3
「政府と民間の取り組みはどちらも重要な役割を担うべき」	33.8	34.8	34.5
日中間の民間交流			
「十分に行われている」「どちらかと言えば十分に行われている」	10.7	9.4	7.4
「十分に行われていない」「どちらかと言えば十分に行われていない」	28.2	31.0	37.3

(笹川平和財団「日本人の中国に対する意識調査 2024」、「日本人の中国に対する意識調査 2023」、「日本人の中国に対する意識調査の結果について (2022 年度)」から加工して作成)

### 厳しい対中国観示す他調査も

日本人の中国に対する見方については、内閣府が今年 1 月に公表した「外交に関する世論調査」結果でも厳しい数値が示されている。全国 18 歳以上の日本国籍を持つ 3000 人を対象に昨年 9～10 月に郵送法で実施された調査だ。中国に「親しみを感じる」あるいは「どちらかといえば親しみを感じる」と答えた日本人は前年に比べ 5.1 ポイント減り 12.7%となっている。毎年実施されているこの調査に主要国・地域に対する親近感を問う調査項目が入ったのは 1978 年からだが、12.7%はこれまでで最少。「親しみを感じない」あるいは「どちらかといえば親しみを感じない」と答えた日本人も 86.7%と前年に比べ 4.9 ポイント増え、こちらも過去最多となった。

また昨年 10 月に日本の特定非営利活動法人「言論 NPO」が公表した中国の海外向け出版発行機関である中国国際伝播集団の日中共同世論調査結果(日本側の調査は昨年 9 月実施)によると、中国に対しよくない印象を持つ日本人が前年の 87.3%からさらに増えて 92.2%に上る実態が明らかにされている。日中関係を「重要」「どちらかといえば重要」と考える日本人も 65.1%と前年の 74.8%から大きく減少している結果も示されていた。

### 経済関係強化重視の調査結果も

では日中関係はどうあるべきか。「日本人の中国に対する意識調査 2024」は日本と中国の関係を進展させるために有効な取り組みをどう考えるかについても尋ねている。選択肢の中から3つまで選んでもらうという方法をとっている。「日本と中国の経済関係の強化」の回答が2022年の24.0%から昨年は28.7%、さらに今回は29.7%と増加傾向にあるのが目を引く。「お互いの歴史認識における和解の実現」は2022年の32.5%から昨年は26.2%に減少したが今回は31.7%に増加した。一方、昨年20.7%から26.3%に増えた「国家首脳の定期的相互訪問」、同じく21.8%から28.9%に増えた「文化・芸術をはじめとするさまざまな分野の交流の促進」、15.2%から19.6%に増えた「気候変動対策や感染症対策など地球規模の問題に対する相互協力の促進」は、いずれも今回それぞれ25.6%、27.5%、17.6%に数字を落としている。

#### 日中関係進展のための有効な取り組み（2022~2024年回答結果）：3つまで選択可

	2024	2023	2022
日中両国間の政治・安全保障関係の強化	33.5	33.1	33.3
文化・芸術をはじめとするさまざまな分野の交流の促進	27.5	28.9	21.8
日本と中国の経済関係の強化	29.7	28.7	24.0
国家首脳の定期的相互訪問	25.6	26.3	20.7
お互いの歴史認識における和解の実現	31.7	26.2	32.5
気候変動対策や感染症対策など地球規模の問題に対する相互協力の促進	17.6	19.6	15.2
諸外国における紛争や災害発生等の相互協力の促進	12.9	14.1	14.3
その他	2.8	2.1	4.9
わからない	26.5	26.8	26.1

（「日本人の中国に対する意識調査 2024」（笹川平和財団）を加工して作成）

### 教育分野の交流促進望む増加

民間交流についての質問項目に関しては「十分に行われていない」「どちらかと言えば十分に行われていない」を合わせた答えが28.2%と、「十分に行われている」「どちらかと言えば十分に行われている」を合わせた10.7%を上回っている。ただし、十分に行われていないとする答えは2022年の37.3%、2023年の28.2%と減り続け、十分に行われているとする答えは2022年の7.4%、2023年の9.4%と増え続けている。

日中間の民間交流はどの分野で促進すれば良いと考えるか、選択肢の中から3つまで選んでもらう調査の結果は、「交換留学など教育分野における交流」2022年の17.1%、2023

年の 22.8%から今回は 23.4%に、「文化・芸術分野の交流」も 2022 年 27.6%、2023 年 34.2%から 34.8%といずれも増えた。また、「訪日旅行・訪中旅行の促進」は 2022 年の 19.6%から昨年は 22.8%「スポーツ交流」は同じく 11.4%から 15.6%それぞれ増えたものの、今回は 16.2%と 14.3%にそれぞれ減少している。

促進すべき日中間の民間交流分野の経年変化（数字は%）

	2024	2023	2022
友好・親睦を目的とした交流	45.6	47.3	45.9
文化・芸術分野の交流	34.8	34.2	27.6
さまざまな分野の専門家間の交流	31.2	35.9	33.5
環境問題に関する交流	27.0	30.4	27.3
交換留学など教育分野における交流	23.4	22.8	17.1
訪日旅行・訪中旅行の促進	16.2	22.8	19.6
スポーツ交流	14.3	15.6	11.4
その他	1.8	1.6	2.7
わからない	14.5	9.8	15.6

（「日本人の中国に対する意識調査 2024」（笹川平和財団）を加工して作成）

日文 小岩井忠道（科学記者）

#### 関連サイト

笹川日中友好基金 [「日本人の中国に対する意識調査 2024」](#)

笹川日中友好基金 [「日本人の中国に対する意識調査 2023」](#)

笹川日中友好基金 [「日本人の中国に対する意識調査の結果について（2022 年度）」](#)

内閣府 [「外交に関する世論調査」（令和 5 年 9 月調査）概略版](#)

言論 NPO [中国人の半数を超える人が、世界で核戦争が起きると回答。その理由はロシアのウクライナへの対応 —第 19 回日中共同世論調査結果を公表しました](#)

#### 関連記事

2024 年 1 月 29 日 客観日本 [日本对中国、俄罗斯的亲近感降至最低，对美韩欧印东南亚的亲近感上升](#)

2023 年 10 月 18 日 客観日本 [中日联合民调结果公布，两国民众彼此印象均恶化](#)

2023 年 2 月 20 日 客観日本 [日本内閣府調査：日本人对中亲近感进一步下降，对俄也恶化](#)

